

# KYOSHIN REPORT

## 第29期年次報告書

平成21年3月1日から平成22年2月28日まで

【トップインタビュー】

更なる成長と革新を実現する  
教育企業として、  
社会の進歩と善良化に  
貢献してまいります。

【特集①:京進の歩み】

「絶えざる革新」を成長の原動力として  
京進は35年間歩んできました。

【特集②:京進の今】

京進は今、学習塾の原点に立ち返り、  
教育企業としての質的向上に、  
こだわってまいります。

35th  株式会社 京進  
みなさまの笑顔に支えられて35年

## おかげさまで京進は、創業35周年を迎えます。

昭和50年6月に京都市東山区で「京都進学教室」を創業。京進は、本年で35周年を迎えることとなりました。

創業時は集合授業の学習塾を中心に校舎を展開し、

個別指導、英会話や家庭教師、そしてフランチャイズ事業などの事業展開を行うとともに、

全国・海外への展開により342拠点の京進ネットワークとなりました。

35周年を節目に、日本語教育事業をはじめとし、学習塾にとどまらない新規事業にも取り組んでまいります。



## 株主の皆様へ

創業35周年を迎えるにあたり、株主の皆様には日頃よりご支援を賜り心より御礼を申し上げます。

第29期は「京進ルネッサンスに果敢に挑戦」を年度方針に掲げ、インターネットを用いた新商品「京進e予備校 (@will)」「京進eドリル」等の導入により学習塾部門の付加価値を高めるとともに「日本語教育事業」「リーディング事業」「家庭支援事業」を立ち上げ、将来に向けての新規事業の芽作りを行ってまいりました。

創業35周年となる第30期は、主力事業である学習塾部門においては「学習塾の原点」に立ち戻り、教務指導力の強化を図るとともに、あらゆる顧客接点にこだわり、これまで以上にお客様に満足頂ける塾作りを進めてまいりたいと考えております。（「こだわり宣言（一部抜粋）」を8ページに掲載しておりますので、ご覧ください）

今春も数多くの志望校におきまして合格者数No.1を実現することができました。今後はこれらの志望校への合格シェアを拡大することで京進ブランドの強化を図るとともに、各地域・各商圏における期待やニーズへの最適化を図り、地域No.1ブランドの塾として評価を頂ける状態を目指してまいります。

一方で将来の成長基盤作りも着実に進めてまいりたいと思います。中国広東省佛山市でスタート致しました日本語教育事業は、お陰様を持ちまして順調に推移しており、今後の中国市場への展開を見据えながら準備を行ってまいりたいと思います。その他の新規事業につきましても将来の大きな成長基盤として育ててまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
白川 寛治



2010年春  
合格実績

## 35年目の今年も、難関校をはじめ数多くの合格者を送り出しました。

志望校への「合格」は、生徒たちの努力の結晶であるとともに、学習塾を主力事業とする京進の指導力の賜物ともいえます。今年も難関校をはじめとする数多くの合格の知らせが届きました。一部となりますが、ご紹介いたします。

全合格者数 **16,785名**

### ●中学入試

#### 最難関中学受験で昨年を大幅に上回る実績

京都最難関中学である

洛南高校附属中学・洛星中学 合計39名 昨年比 **111%** UP

愛知最難関中学である東海中学 35名 昨年比 **125%** UP

ラ・サール中学へ32名 昨年比 **152%** UP 塾別合格者数 **No.3**

#### 人気の公立中高一貫校へ多数合格

京都大学などの難関大学への合格者数でも

躍進する京都公立中高一貫校である

洛北高校附属中学・西京高校附属中学 合計 **37名**

滋賀県立中高一貫校である

守山中学・河瀬中学・水口東中学 合計 **86名** 昨年比 **117%** UP

(注)1.京進グループ全体の実績です。2.合格者数は、内部進学者を含みます。  
3.「塾別合格者数」の順位は、当社調べによります。

### ●高校入試

#### 最難関高校受験を中心に大躍進

京都最難関高校である

洛南高校 121名 昨年比 **113%** UP 京都府内の塾別合格者数 **No.1**

堀川高校探究学科群 47名 塾別合格者数 **No.1**

西京高校エンタープライジング科 36名 塾別合格者数 **No.1**

滋賀最難関高校である

膳所高校 152名 昨年比 **123%** UP 塾別合格者数 **No.1**



### ●大学入試

国公立大学合計463名、  
私立大学合計3,913名の合格者数

京都大学 33名 昨年比 **110%** UP 名古屋大学 15名 昨年比 **166%** UP

関関同立 1,112名

産近甲龍 836名

洛南高校 直近10年合計 **1,374名合格**

堀川高校探究学科群 探究学科群設置以来12年合計 **604名合格**

膳所高校 直近10年合計 **1,360名合格**

創業35周年の歴史が誇る合格力

## 更なる成長と革新を実現する教育企業として、 社会の進歩と善良化に貢献してまいります。



代表取締役社長 白川 寛治

**Q** 京進の掲げておられる長期ビジョンについてお聞かせください。

**A** 私どもは創業50周年に向け、『2025年構想』という長期目標を掲げております。この構想は「日本一、世界一の教育総合企業グループを目指す」というスローガンのもと、全従業員が目指すべき京進の未来の姿を描いたものです。当社は創業時より、「日本と世界の教育・文化の向上、社会の進歩と善良化に貢献します」という経営理念を持ち、いかにして社会に貢献できるかを考え、実践してまいりました。その理念を指針とし、「ひとりひとりを大切に」という価値観を大切にしながら、「生徒の学力・人間性を伸ばす」ということに注力した教育サービスを提供しております。また、塾の経営で培ったノウハウを活かし、他の教育分野に進出するとともに、日本はもちろん、世界をフィールドとした拡大戦略を図り、さらなる広領域・広範囲の事業展開を進めております。今後は、学力・人間性の両面を高める教育サービスを基本に、社会の善良化に努め、国際社会に貢献できる人材をより多く輩出したいと考えております。また、開発途上国支援活動をはじめ、世界規模での教育・文化の向上を視野に入れた活動にも取り組んでまいりたいと思っております。未来に向けたこれらの取り組みを順次拡充させ、2025年構想の実現に向けて着実に前進してまいります。

**Q** 新規事業「日本語教育事業」の進捗状況と、将来の展望についてお聞かせください。

**A** 「日本語教育事業」につきましては、2009年7月より中国・広東省の佛山市に、中国人の一般の方を対象とした「京進日語培训中心 佛山南海校」を開校しました。また、日系企業に勤める中国人従業員への日本語教育や、大学での日本語講座も実施しており、順調な成果が見られます。この佛山市での開校を足がかりに、将来に向けての展開を検討しております。中国は学習に対する意識が高いという面から、教育分野においても巨大なマーケットであり、現地政府の全面サポートという大きな強みもあって、当事業は新規事業の中で収益面において最も期待できる部門と見込んでおります。さらに将来的には、日系企業が数多く進出しているエリアから事業拡大を図り、当社が持っている進学学習指導・受験指導といったノウハウを活かせる、新たな事業も開拓してまいりたいと思っております。



**Q** 新たな市場開拓と顧客創造について、今後の戦略と目標をお聞かせください。

**A** 我々が取り組んでいる「リーチング」とは、自らが目標を設定し、その目標に向かって自らが考え行動する自立型人間育成を目的としたプログラムです。「リーチング事業」においては、2008年より通塾生をはじめ当社従業員を対象にリーチングを実施。2009年11月からは一般企業においても研修を開始し、好評を頂いております。今後は企業や団体への認知をさらに高め、研修・指導事業を広めていく計画です。「家庭支援事業」では、0歳～9歳の子どもを持つ家庭を対象に、2009年10月からネット上での「家庭力診断テスト」をスタート。また、子育ての悩みを解消するコミュニティづくりなどにも取り組んでおります。学習塾部門につきましては、2009年に映像授業「京進e予備校」、自宅のパソコンで学習できる「京進eドリル」を導入いたしました。これらITを活用することで通塾生にはリーズナブルな価格で学習量を増やして頂くと同時に、塾に通いにくい地域の方にも学習サービスを提供してまいりたいと思っております。私どもは以上の取り組みにより、新たな市場開拓と顧客創造を目指してまいります。今後は、社会人やシルバーといった年代層への教育支援をはじめ、高校・大学の卒業生、主婦などを対象とした様々な事業なども視野に入れ、さらなる事業領域の拡大にも取り組んでまいります。創業35周年を迎える第30期は「こだわり宣言」を掲げております。その中で、京進に関わる皆様の声に積極的に耳を傾けるという方針を提唱しておりますので、ぜひ株主の皆様の叱咤激励の言葉を頂戴できればと思います。従業員が一丸となり、皆様の期待と信頼に応えることのできる企業を目指してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

# 「絶えざる革新」を成長の原動力として 京進は35年間歩んできました。

1975年(昭和50年)に京都市東山区での創業以来、常に現状に甘んじることなく「絶えざる革新」を続けてきました。早期の海外進出や日本全国への展開、顧客のニーズに対応する事業展開や商品提供とあわせ、これらを支える組織強化・人材育成にも力を注いできました。ここに京進の35年の歩みをご紹介します。

海外進出・全国への展開

事業展開

新サービス提供

## 京都から滋賀へ

1984年 京進「堅田校」「瀬田校」開校

1975

1975年  
個人塾として、京都市東山区泉涌寺門前町に「京都進学教室」を創設

1980

1981年  
「株式会社京都進学教室」設立

1984

1986年  
四谷大塚進学教室と提携

1985

1988年  
「週実制&循環発展学習法」開始

1987年  
海外進出(ドイツへ)  
「京進デュッセルドルフ校」開校

1990

1990年  
家庭教師事業に参入  
派遣センターとして「京進プリバータ」を開創

1991年  
個別指導に参入  
「スクール・ワン」の名称で下鴨教室、宇治教室を開校

1995

1998年  
東大・京大・国公立大医学部受験コース「TOPΣ」開設

1998年  
英会話事業開始  
「ユニバーサル・キャンパス」伏見校開校

1997年  
社名変更  
「株式会社京都進学教室」から「株式会社京進」へ

1998年  
京都市下京区に本社ビル建築移転

1999年  
大阪証券取引所二部  
京都証券取引所へ上場

## 京都・滋賀から全国へ

1997年 大阪府にて初開校  
1999年 兵庫県にて初開校  
2000年 奈良県にて初開校  
2001年 岐阜県にて初開校  
2004年 広島県にて初開校  
東京都にて初開校  
福岡県にて初開校

2005年 岡山県にて初開校  
石川県にて初開校  
神奈川県にて初開校  
香川県にて初開校  
千葉県にて初開校  
2006年 熊本県にて初開校  
三重県にて初開校  
2007年 埼玉県にて初開校  
2008年 徳島県にて初開校



2000

1998年  
中学生を対象にした英語リスニング授業「リスニング・ワールド」提供開始

2000年  
日本経営品質賞への取り組み開始

2003年  
アメーバ経営システム導入

2004年  
インターネットを活用した京進e-DES(双方向eラーニングシステム)の提供開始

2005年  
個別指導教室「京進スクール・ワン」のフランチャイズ展開開始

2005年  
小学入試専門「京進ぶれわん」北大路校開校

2005

2006年  
中国へ進出  
「京進広州校」開校

2008年  
自立型人間育成プログラム「リーチング」提供開始

2009年  
インターネットを活用した京進e予備校(映像配信授業)、京進eドリル(家庭学習教材)の提供開始

2009年  
新経営体制へ  
代表取締役会長に立木貞昭、代表取締役社長に白川寛治が就任

2009年  
中国にて日本語教育事業開始  
「京進日本語培训中心佛山南海校」の開校

2009年  
家庭支援事業開始

# 京進は今、学習塾の原点に立ち返り、 教育企業としての質的向上に、こだわってまいります。

創業35周年を迎え、京進は「学習塾」の原点に立ち返り、塾の命である「授業」はもちろんのこと、あらゆる接点における指導にこだわり、これまで以上に「学力と人間性の向上」に努めてまいります。

## 安全と安心への「こだわり」

設備面や学習環境に関わるハード面での安全対策だけでなく、生徒や保護者の皆様の安心感を高めるソフト面まで万全を期し、年間を通じて取り組み内容のチェックと改善を行ってまいります。



- 日常のミーティングでの安全チェックと情報共有
- 採用プロセスの厳格化と初期研修の充実
- 設備面・学習環境における安全対策
- 通塾時の安全確保の取り組み(通塾指導)
- 全社組織での安全チェックと改善点抽出・提案

## 多様化するニーズの変化への対応の「こだわり」

大学全入時代を迎え保護者や生徒の価値観も多様化しております。入試制度も年々変化しており、学ぶ目的や学び方も多様化しております。京進では「集合指導」「個別指導」「家庭教師」「映像やインターネットによる指導」等、様々な学びの形態を揃え、対応してまいりました。地域のニーズに適合する新講座やコースの設置を行うと同時に、「小学入試対策」「幼児の知能教育」等、幅広い年齢ニーズに対応する商品を開発・提供しております。



## 学力と人間性の向上への「こだわり」

志望校合格への様々な取り組みへのこだわりは当然ですが、合格はゴールではなく新たなスタートと位置づけています。自分で考え自分で人生を開拓し、思いやりの気持ちで他人や社会に貢献できる「自立と貢献」のできる人づくりにこだわってまいります。平素から挨拶や礼儀、言葉づかい、マナーの指導にも力を入れ、3年目を迎えた自立型人間育成プログラム「リーチング」にこだわり、その効果を高めるために様々な改善を繰り返してまいります。



## 従業員の成長への「こだわり」

組織価値観の理解と浸透を全ての基盤とし「経営品質向上プログラム」「アメーバ経営」「リーチング」を従業員の成長の3本柱として位置づけております。また教務知識と技術の向上を目指す「教務ライセンス制度」や「マナー研修」「コンプライアンス研修」等、様々な研修制度を設け、従業員ひとりひとりの成長にこだわってまいりたいと思います。



## 京進35周年 “こだわり宣言” (一部抜粋)

- 私たちは、生徒ひとりひとりの安全と安心にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの学校の成績向上にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの塾内の成績向上にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりのテスト答案の内容にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの学習状況にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの目標設定にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの目標達成計画にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの計画実行度にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの目標到達度にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの目標達成にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの進路指導にこだわります。
- 私たちは、生徒ひとりひとりの志望校合格にこだわります。
- 私たちは、授業の質を上げることにこだわります。
- 私たちは、面談の質を上げることにこだわります。
- 私たちは、面談の量を増やすことにこだわります。

- 私たちは、生徒指導の質を上げることにこだわります。
- 私たちは、生徒指導の量を増やすことにこだわります。
- 私たちは、情報提供の質を上げることにこだわります。
- 私たちは、情報提供の量を増やすことにこだわります。
- 私たちは、生徒の興味とやる気を引き出すことにこだわります。
- 私たちは、生活習慣・挨拶・言葉づかいなど躰の指導にこだわります。
- 私たちは、ご家族と一体となった指導にこだわります。
- 私たちは、顧客からの電話1件1件にこだわります。
- 私たちは、家庭への連絡1件1件にこだわります。
- 私たちは、生徒・保護者の声に謙虚に・誠実に向き合います。
- 私たちは、地域社会に溶け込むことに努めます。
- 私たちは、地域社会の声に真摯に対応します。
- 私たちは、地域社会に貢献することに努めます。
- 私たちは、年長者として生徒に範を垂れられるように努めます。
- 私たちは、企業人として社会性と常識を身につけるように努めます。
- 私たちは、上場企業の社員として品格を高めるように努めます。
- 私たちは、京進をNo.1にすべく最大の努力をします。

## 未来の「教育企業として日本一・世界一」を目指し、新たな事業にチャレンジしてまいります。

### 中国における日本語学校展開へのチャレンジ

中国広東省佛山市に子会社を設立し、中国人を対象とした日本語教育を開始しました。一般の方を対象とした日本語学校を運営するとともに、日系企業の中国人従業員を対象とした日本語研修の実施や現地大学における日本語講座を担当しております。既に約500名の中国人の方に受講頂いております。

### 企業・大学生の成長を支援する「リーチング事業」のチャレンジ

自立型人間育成プログラム「リーチング」については、2008年から従業員、通塾する中学生を対象に提供を始めました。2010年は、通塾生の大半を対象を拡大し取り組んでまいります。また、2009年からは一般企業への研修プログラムとしても提供を開始し好評を得ております。就職活動や社会人として必要なスキル習得を支援する大学生対象のプログラムも開発しており、提供を開始いたします。

### 幼児教育市場へのチャレンジ「IQを高める知性開発コース」の開講

IQ(知能指数)は生まれつきのものではなく、その後の環境、経験によって向上できるものです。当社は、子どもたちのIQを高めることで、子どもたちの将来の可能性を広げたいと考え、2010年4月より「京進ぶれわん」において、2歳児～年長児を対象とした「IQを高める知性開発コース」を開講しました。本コースは、多くのことをやみくもに詰め込むのではなく、まずじっくり考えてから取り組むことを最大のテーマとしており、子どもたちの興味や思考意欲を刺激し、潜在能力を引き出すカリキュラムを用いております。この新コースでは、従来「京進ぶれわん」が対象としておりました小学校受験という枠にとらわれず、「小学校受験を迷っている」「小学校受験はしないが将来に備えたい」という方も対象としており、IQを高めることでより優秀な子どもたちを育て、市場の裾野を拡大したいと考えております。

教育事業部門

小中部

売上高 **4,705**百万円 (前期比91.8%)

生徒数 **9,543**人 (前期比89.3%)

平成21年5月よりインターネットを用いた新商品「京進eドリル」を導入するなど、多様化するニーズに対応。通塾生の基礎学力向上と顧客の入室促進を図ったものの、期首の集客の伸び悩みを払拭するに至りませんでした。



高校部

売上高 **1,278**百万円 (前期比92.6%)

生徒数 **2,450**人 (前期比94.1%)

平成21年5月より映像授業による個別学習システム「京進e予備校」を導入。既存顧客への付加価値向上ならびに新たな顧客の入室促進を図りましたが、導入時期の遅れから、当初見込んでいた効果には至りませんでした。



個別指導部

売上高 **4,023**百万円 (前期比84.6%)

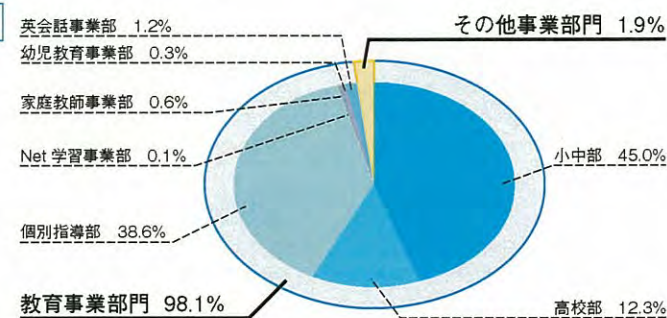
生徒数 **8,651**人 (前期比84.2%)

期首の集客の伸び悩みが、当連結会計年度の売上高に大きく影響する結果となりました。なお、前期比における売上高減少には、期首に行った統廃合による影響を含んでおりますが、原価・販管費等の削減効果から、当連結会計年度の利益に与える影響は軽減されました。



事業部門別売上高割合

平成22年2月28日現在



その他事業部門

フランチャイズ事業部

売上高 **191**百万円 (前期比111.3%)

フランチャイズ展開を推進している個別指導教室「京進スクール・ワン」のフランチャイズ校については、14校を新設開校、1校を直営化、3校を閉鎖し、合計82校と順調に伸長しております。次の収益の柱にするため、さらに注力してまいります。



事業所数と生徒数の推移

◆事業所数推移



◆生徒数推移(直営のみの合計)



売上高



営業利益・営業利益率



経常利益・当期純利益



連結貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

科目	当期末 (平成22年2月28日現在)	前期末 (平成21年2月28日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	1,890,720	1,683,572
固定資産	6,444,827	6,811,608
有形固定資産	3,943,670	4,347,163
無形固定資産	235,412	257,284
投資その他の資産	2,265,744	2,207,161
資産合計	8,335,548	8,495,181
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	2,419,460	2,547,461
固定負債	3,161,280	3,068,960
負債合計	5,580,740	5,616,421
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	2,732,229	2,859,444
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	2,141,795	2,269,011
自己株式	△1,413	△1,413
評価・換算差額等	22,578	16,827
その他有価証券評価差額金	21,647	19,526
為替換算調整勘定	930	△2,699
少数株主持分	—	2,487
純資産合計	2,754,807	2,878,759
負債純資産合計	8,335,548	8,495,181

連結損益計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	当期 (平成21年3月1日から 平成22年2月28日まで)	前期 (平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで)
売上高	10,431,068	11,657,793
売上原価	7,797,977	8,651,977
売上総利益	2,633,090	3,005,816
販売費及び一般管理費	2,496,980	2,700,092
営業利益	136,109	305,723
営業外収益	19,317	19,792
営業外費用	67,410	86,738
経常利益	88,017	238,777
特別利益	8,033	104,797
特別損失	250,255	237,188
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△154,204	106,386
法人税、住民税及び事業税	37,608	159,257
法人税等調整額	△79,636	△112,563
少数株主利益	357	544
当期純利益又は当期純損失(△)	△112,534	59,148

総資産・純資産・自己資本比率



- ・流動資産が増加  
流動資産は、前期末に比べ207,148千円増加しております。増加額のうち200,183千円は、有価証券の増加によるものであります。
- ・有形固定資産が減少  
有形固定資産は、前期末に比べ403,492千円減少しております。減少額のうち197,961千円は、減損損失の計上によるものであります。
- ・減損損失を計上  
特別損失は、250,255千円を計上しております。主な内容は、減損損失231,448千円等であります。

株式情報 (平成22年2月28日現在)

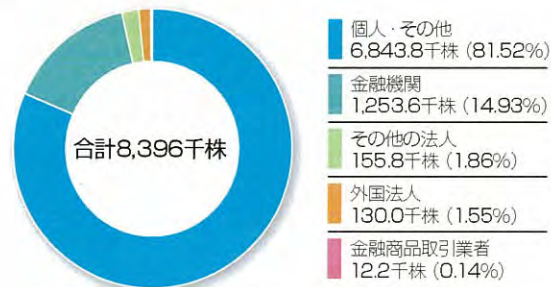
- ◇発行可能株式総数 22,640,000株
- ◇発行済株式の総数 8,396,000株
- ◇株主数 1,312名

◇大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
立木貞昭	2637,600	31.41
京進社員持株会	580,200	6.91
株式会社三菱東京UFJ銀行	342,000	4.07
白川寛治	255,500	3.04
立木泰子	254,800	3.03
立木康之	254,400	3.03
京進取引先持株会	218,500	2.60
株式会社京都銀行	208,000	2.47
株式会社池田銀行	208,000	2.47
株式会社滋賀銀行	206,000	2.45

(注) 株式会社池田銀行は、平成22年5月1日に株式会社泉州銀行と合併して、株式会社池田泉州銀行に商号変更しております。

◇所有者別株式数分布



会社概況 (平成22年5月27日現在)

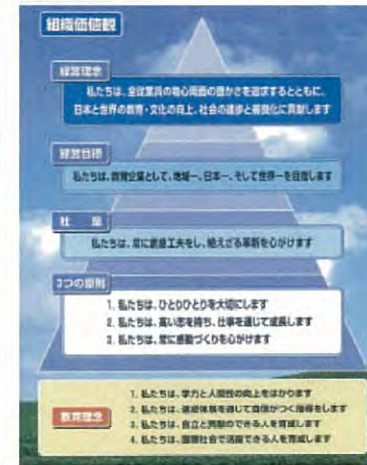
- 商号 株式会社 京進 (英語名 KYOSHIN CO.,LTD.)
- 本社所在地 〒600-8177 京都市下区烏丸通五条下る大阪町382-1 TEL 075-365-1500 (代表)
- 創業 昭和50年6月
- 設立 昭和56年4月2日
- 資本金 327,893千円
- 役員 代表取締役会長 立木貞昭  
代表取締役社長 白川寛治  
常務取締役 土坂義高  
取締役 高橋良和  
取締役 樽井みどり  
取締役 福澤一彦  
常勤監査役 福盛貞蔵  
監査役 彦惣弘  
監査役 尾川宣之  
監査役 市原洋晴
- 従業員 734名 (連結) (平成22年2月28日現在)

当社に関する情報は  
ホームページでも  
ご覧いただけます。

<http://www.kyoshin.co.jp/>



組織価値観の理解と浸透のための取り組み



当社は創業以来、「学力と人間性の向上」、「ひとりひとりを大切に」を掲げ、活動してまいりましたが、1998年に経営幹部が議論を重ね、『組織価値観』を策定し自分たちの存在価値や向かうべき方向性、重視する考え方や行動を明文化しました。私たちの「ありたい姿」の実現、長期ビジョンの達成のためには、全従業員が組織価値観を正しく理解し、同じベクトルで行動し続けることが極めて重要であります。職場ごとに、毎日の始業ミーティングでの唱和を実施することや価値観について自分の言葉でスピーチを行うことで、浸透を図っております。

安全で安心できる学習環境の提供・確保

学習塾における「安全で安心できる学習環境の提供・確保」は、顧客における「最も大切な基本価値」であり塾選別の重要な要因の1つと認識しております。京進では、この安全対策を中長期の最重要経営課題と位置づけ、毎年、改善を図り、安全面での顧客評価、社会的評価を頂くといった取り組みを実践し、中長期的には全国の学習塾のスタンダードを目指したいと考えております。(詳しくはホームページをご覧ください)

<主な活動内容>

- 社員・講師に対するの研修・心のケア
- 設備や学習環境の整備・通塾時の安全の確保
  - 常時施設・通塾メール・モニターカメラ設置
- 緊急時対策
  - 社員へ普通救命講習の実施 559名受講(2010年2月1日現在、全社員の70%)
  - 全校・全教室での避難訓練、防災対策
- お客様とのコミュニケーション
  - お客様相談センターの設置
  - お客様へのアンケートの実施
  - ホットライン(定期的な電話連絡)の実施
  - 保護者懇談の実施
- 地域との連携
  - 全校・全教室がこども110番として登録
- 各校における取り組み
  - 校点検シートによる日々の安全チェック
  - 日々のミーティング日報による共有と報告
- 全社的な体制
  - 全社リスク管理委員会
  - カテゴリごとのリスク管理小委員会

社会貢献活動

<ミャンマーへの支援活動>

1999年からミャンマーのマンドレーデフスクールへ寄付活動を始めました。職業訓練施設、機器類(パソコン、コピー類、補聴機器)の充実、インストラクターの養成などに尽力してきました。また、学校から遠いところに住む生徒も学校に通うことができるように、寄宿舎やスクールバスも寄付しています。



<「ピンクリボン京都」への協賛>

京都において、企業や行政、大学、各団体が協力して、2005年から「ピンクリボン京都」による無料検診の実施やメッセージカードの配布など、乳がん検診の大切さを伝えるための様々な活動を行っています。京進は、この「ピンクリボン京都」に協賛しています。





## 株主メモ

- 事業年度 3月1日～翌年2月末日
- 定時株主総会の基準日 2月末日
- 期末配当金受領株主確定日 2月末日
- 中間配当金受領株主確定日 8月31日
- 定時株主総会 毎年5月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)
- 上 場 証 券 取 引 所 大阪証券取引所
- 公 告 の 方 法 電子公告により行う。  
公告掲載URL <http://www.kyoshin.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



本社 〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1  
TEL 075-365-1500 (代表) FAX 075-365-1511 (代表)